

## 産科医療補償制度 第103回原因分析委員会 議事要旨

日時：2023年7月7日（金） 16時00分～17時10分

場所：公益財団法人日本医療機能評価機構 会議室

出席者（委員）：石川浩史、茨聡、上塘正人、川田綾子、楠田聡、佐藤昌司、  
下屋浩一郎、鈴木俊治、鈴木利廣、関沢明彦、高田昌代、  
豊田郁子、前田津紀夫、馬目裕子、村越毅、吉田幸洋（敬称略）

議事概要：

### 1) 原因分析委員会における報告書の確認・承認状況等について

○2023年5月末時点で累計3,602件の原因分析報告書が承認されたことが報告された。また、コロナ禍の影響もあり審査結果通知から報告書送付までの期間が長くなっていることから2022年度より実施している報告書作成期間を概ね1年に短縮する取組みの状況等が報告された。

○同一分娩機関での複数事案目の原因分析の結果、同じ診療行為等において医学的に厳しい評価が繰り返された場合に一層の改善を要請する「別紙（要望書）」対応について、2023年5月末時点の累計実施件数135件、改善要望項目としては「胎児心拍数陣痛図の判読と対応」が最も多いこと等が報告された。また、日本産婦人科医会との連携取組みの2例目として、分娩機関からの要請を受け、2023年4月に医会の理事が同分娩機関を訪問し実施した改善取組みの支援内容について、対応した委員より報告された。

### 2) 原因分析報告書の公表・開示および原因分析のデータ等を活用した研究等の状況について

○原因分析報告書要約版について、2020年8月以降、同意取得を行うことなく全件一律に公表を行っている中、2023年2月に報告書を送付した当該分娩機関と保護者より要約版公表の差し止めを求める訴訟が評価機構に対し提起され係争中であること等が報告された。

○原因分析報告書全文版（マスキング版）については、開示方法を変更した2015年11月以降2023年5月末までに15件の利用申請があり延べ3,383事例の報告書を開示したこと等が報告された。

○産科制度データについては、新しい項目として原因分析報告書要約版の「脳性麻痺発症の原因」を追加することとし、現在、事務局内で提供体制の整備を進めていることが報告された。

### 3) 「診療体制等に関する情報」のフォーム改訂について

○原因分析、再発防止に活用するための分娩機関からのデータ収集に用いる「診療体制等に関する情報」フォームに関し、再発防止委員会および原因分析委員会で承認された方針に則って改訂が行われ、2023年5月より使用を開始したことが報告された。

以上